

令和3(2021)年11月24日(水) 第6号
北海学園札幌高等学校WWLコンソーシアムリポート
Snow Crystal Project in Hokkaido

11月22日(月)、当コンソーシアム支援構築事業の第8弾として、国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構 北海道農業研究センター 研究推進部 研究推進室主席研究員の臼木一英先生によるオンライン講義が行われました。北海道帯広農業高等学校、北海学園札幌高等学校の生徒が拝聴しました。

臼木先生は、「十勝地域におけるタマネギ栽培について ~直播栽培における高品質・高収入の実態と移植栽培との比較~」と題して、講義をしてくださいました。

基本であるたまねぎの形態的特徴のお話から始まり、施肥方法の歴史と進化、玉ねぎの品種改良、オリジナル品種のお話と多岐にわたり、私たちの食生活において身近な食物であるたまねぎを多方面から分析および紹介してください、高校生が興味関心を深く持つことができるような講義をしてくださいました。

そして、講義の最後においては、SDGs達成の観点から、ICTやAIの導入といった地球にやさしい技術による安定栽培の大切さをお話されました。

臼木先生、ありがとうございました。北海道帯広農業高等学校の室伏教頭先生、生徒の皆さん、ありがとうございました。また、当プログラムの実施にあたりご高配を賜りました北海道農業研究センター地域戦略部 研究推進室 広報チーム長でおられる佐藤豪様に厚くお礼申し上げます。

